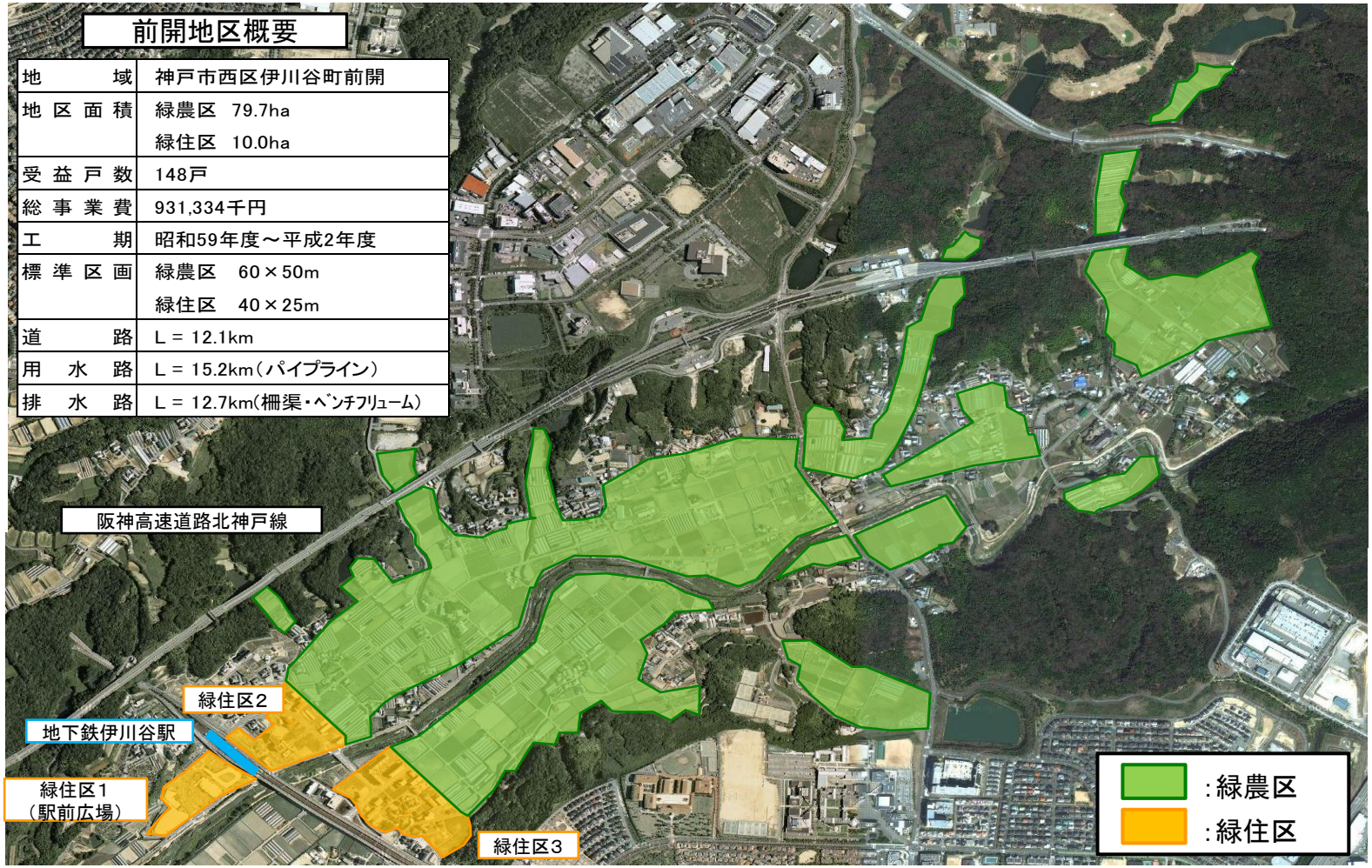
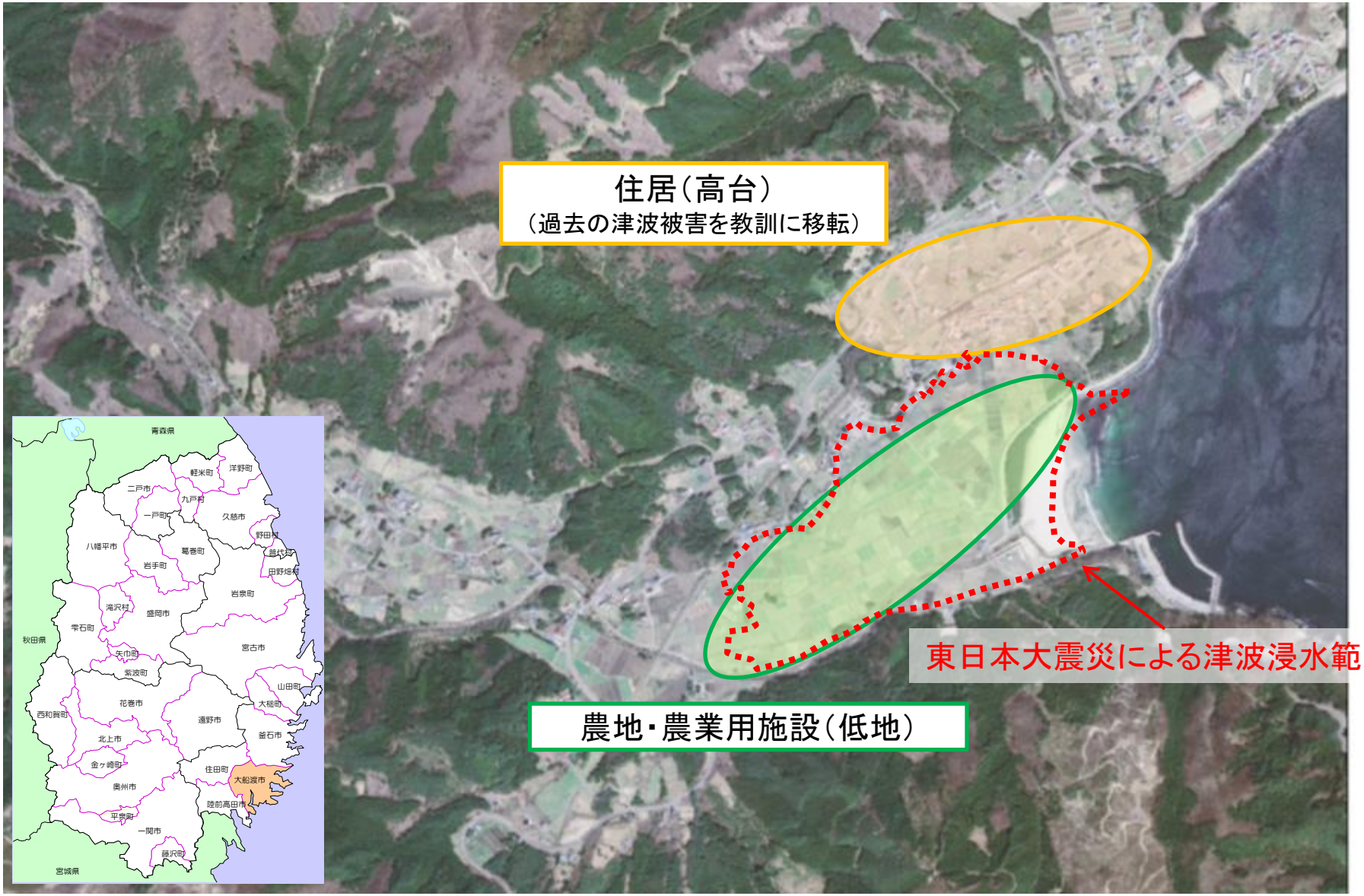
【事例２】緑農住区開発関連土地基盤整備事業事例（兵庫県神戸市　前開地区）

○ 都市計画地域内外にまたがって、農地整備の対象である「緑農区」と一体的に整備すべき住宅等の用地である「緑住区」間の土地利用を調整。都市近郊農業の生産基盤を整備するとともに、これと一体的な良好な環境を備えた住宅用地の創出を行い、農業と都市の調和ある土地利用を促進。
○ S47の事業創設以来、12地区で実施。
○ 前開地区では、緑農区内のため池敷地を換地することで、地元が熱望していた地下鉄新駅の駅前広場の用地を捻出。
○ 緑農区及び緑住区間の土地移転の希望に応じて、緑農区約7,500m²と緑住区約3,800m²において土地を交換。



【事例３】過去の津波被害からの復興事例（岩手県大船渡市　吉浜地区）

○　明治29年（1896）の三陸大津波、昭和8年（1933）の津波等の過去の津波被害を教訓にし、住居は高台（浸水区域より高地）へ移動し、農地・農業施設は低地へ配置。